ながの村

【2008年9月16日発行】

〒729-1360 2
広島県神石郡神石高原町永野2549の1
TEL(0847)86-0215
FAX(0847)86-0045

9 2008 SEPTEMBER/長月

H.P/ www.naganomura.com
e-mail naganomura@image.ocn.ne.jp

お風呂・トイレ新設工事進む!!

「お風呂とトイレ新設」の為の工事がお盆過ぎから始まりました。

8月18日工事請負会社と契約をし、翌日から建物西端にあった調理師休憩室の取り壊しが始まり、8月中に基礎・配管工事が終わりました。

9月になって大工工事が始まり木柱が組まれました。工事完成は10月中旬です。お楽しみに!!

9月4日撮影

資源回収について・・・

子ども育成会では8月10日に資源回収を行いました。回収場の整理、掃除等をした後長い青竹で、そうめん流しと揚げたての天ぷらで大人も子供も楽しいひとときを過ごしました。

育成会では毎年夏に資源回収をして活動費にあてていますが、残念ながら、告知不足のため、年々回収量が減少しています。回収物はアルミ缶、新聞、雑誌、ダンボールですので、ご協力お願い致します。

ご連絡下されば回収にお伺い致します。

【連絡先】
◎横溝裕治　86の0801
◎中村商店　86の0207

ちょっと立ち話 第五話

あのなぁ～

藤田さん家のこすもす庵（旧西川さん宅）で喫茶店がオープンされました。

土曜・日曜10時開店です。どうぞ行ってみんさい

永野こまち探検隊

人物紹介 Vol.38

友国フサエさん（81歳）
昭和2年8月14日生まれ

永野の佐々木家の9人兄弟の四女として生まれ育ちました。

昭和16年小学校6年生の二学期の終わりに理容師になる為福山へ出ました。散髪が大好きで、学校の廊下の突き当たりに大きな鏡があり、その前で同級生の髪をハサミで切っていたのを思い出します。当時福山へ行けると思うと嬉しくて嬉しくて楽しみでしたが実際行ってみると私の気持ちとは大違いでした。夕方になると、両親が恋しくて涙したことも度々ありました。従弟制度の厳しい時代でしたので、勉強がしたくても文字を読むことも書くことも出来ませんでした。

23歳で結婚し、主人と二人で理容院を営みました。母の世話をしながら自然農法の野菜作りをしようと、平成5年に永野へ帰ってきました。子供には恵まれませんでしたが、主人はとても優しい人なので幸せな日々を過ごしていましたが、残念ながら新築の自宅に足を踏み入れる前に脳梗塞で帰らぬ人となりました。

しばらく寂しい生活でしたが、聖書との出会いがあり、真理を知ることができました。伝導される方が熱心に何回もおいでくださり、少しずつ聖書にふれあいました。

母も平成13年に亡くなり、一年ごとに体力が低下してゆく自分でしたが、真理を知る事で、将来への不安がなくなり、すばらしい希望を持つことが出来、毎日充実した満足のゆく生活を送っています。食生活は体によいものを常に摂取しているし、兄弟は離れて暮らしているが、私のひとり暮らしを信じてくれています。

聖書には・・・神は、彼らの目からすべての涙をぬぐい去ってくださり、もはや死はなく、嘆きも　叫びも苦痛ももはやない（啓示21－4）と記されています。

比治山大学レポート No.2

今難しい時代といえますが、悲しみの涙を流すことのない、よい時代がくるというこの言葉を確信しているので、一人でも多くの人にこの事を知って希望を持って頂きたいと、心から願って奮闘の日々を送っています。

今回のヒアリングを通して、地域福祉とは、インフラ整備や医療などが整ってこそのものだと考えていたが、厳しい土地環境と財政難のなか住民みんなで一つの地域を盛り上げるこの永野地域の住民は、都心で暮らしている自分にとって想像以上に恵まれていると思った。

都心の人には、帝釈峡とその近辺の自然が魅力的であり、宿泊施設や鍾乳洞の研究機関の誘致など、地域活性に繋がる財産がたくさんあることも分かった。

一方で、今年の10月で路線バスが廃止され、来年度にはおでかけタクシーも廃止、乗り合いタクシーにすることもあり、住民の移動手段が年を重ねるごとに悪化してる。

公共福祉サービスの向上化は、永野地区に限らず全国の中山間地域で課題となっている。

これからは、国から支給される税金にたよらず、ボランティアやNPO法人が、住民自治と協力して行うことも大切になると思った。

自分は、これからながの村の調査を通して様々な問題を抱えた地域について深く研究していきたい。

現代文化学部
地域文化政策学科
072E032　和田直也

庄原市理科部会よりお礼状

謹啓　残暑の候、貴殿におかれましては益々のご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、庄原中学校教育研究会理科部会にご支援をいただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。

さて、先日の8月4日には、本研究会理科部会夏季フィールドワークにおきまして、大変多忙中にもかかわりませず、ご指導いただきありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

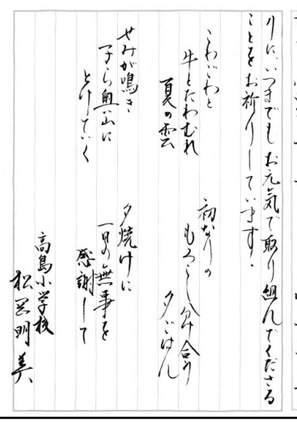
本研究会理科部会では、身近な自然の教材化を研究テーマとして研修を進めています。そのためにはまず指導者である私たちが身近な自然の素晴らしさを実感していこうとしております。この度、ご指導いただきましたことを授業に生かしていきたいと思っております。

今後ともご指導のほどよろしくお願い致しますとともに益々のご活躍とご発展をお祈り申し上げお礼の挨拶といたします。

庄原市中学校教育研究会
理科部会

高島小学校

◎体験学習のお礼状
校長　松岡明美様より



◎児童の俳句

◆鍾乳洞　世界に三つの宝物　陸

◆パチパチ　炎の中から友情が　梓

◆いつまでも　ほのおの中にきずなあり　里菜

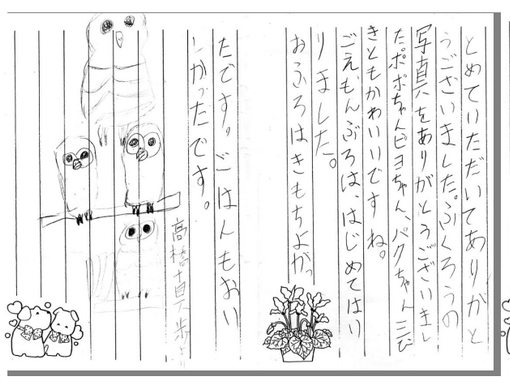
◆汗かいて　やっとこの着　鍾乳洞　敬生

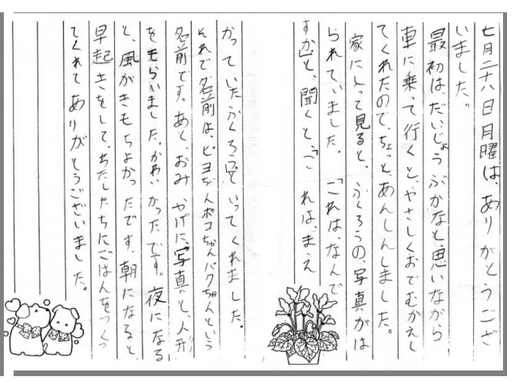
◆いつまでも　思いが残る　みんなの炎　春輝

◆最後の夜　もうすぐ終わり　さみしいな　里奈

走島小学校よりお礼状

■体験学習民泊先へのお礼状紹介





夏まつり!! 参加者284名

ながの村恒例の夏祭りが夕闇せまるグランドで、お盆をふるさとで迎える帰省客など地元住民で夏の夜を楽しみました。

ながの村住民は241人ですが、この夜は284人の抽選券で入場者を確認し、主催者を喜ばせました。

今回は福山市駅家町から沖縄エイサーの踊る団体「ゆいまーる」17人が熱演、初登場のロックバンド「プラチナハート」がオリジナル曲「夏の夜」など5曲を演奏しました。

メンバーには、地元ながの村の人もおり舞台登場には大拍手、舞台前でリズムをとるお年寄りもおり、年齢を超えてロックのリズムを楽しみました。

広島市内からの参加の高校生田辺しおりさん（17歳）は「祖母の家は落ち着く、大勢の人ですごいと思う。人がみんなやさしい」などの声がありました。

短歌

◆金字塔を北京の空にうちたてし選手の努力涙で讃えん

◆足弱り世界の旅は眼でなさん今宵も走る「世界の車窓」　宮野滋子

◆庭の草われを尻目に生茂り花実をつけて風に託せり

◆終の日を誰れも知らずに日を過ごす願いは一つぼけない祈り　三好ハツミ

●お詫び
先月号の短歌の中で、誤りがありました。お詫びして訂正致します。

誤　両の手をたたって笑顔す　女孫見る
正　たたいて

誤　夜半おきて痛む足腰　大人が
正　さすりおり

誤　蚊をうつ
正　哀感すでに

誤　み習いか
正　枯果てし身の哀歓すでに

さざんかの会 No.11 我が家の一品!!

一品料理の受付は
FAX 0847-86-0045
ながの村まで

黒大豆（煮豆）

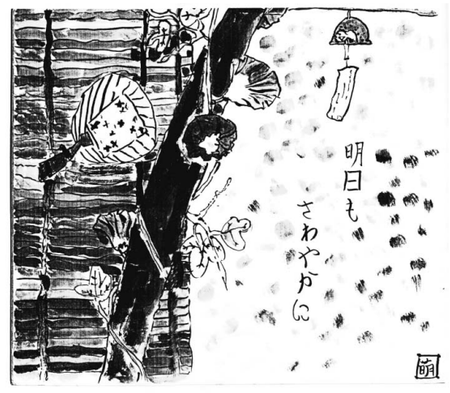
◆材料
黒大豆
砂糖・・・・・好みで多少を決める
塩・・・・・・・少々
しょう油・・・少々
重曹・・・・・少々

作り方
●しょう油、砂糖、塩、重曹、黒豆大豆、水を鍋に入れ、多めの水で一晩寝かす。
●鍋を火にかけ、煮立ったら中火にして煮ふくめる。
ふっくらと柔らかく仕上がる常に、煮汁を、ひたひたよりへらさない事。

大根の漬物

◆元漬　迎い水をして漬け込みます。
大根を洗って曲がる程度に日光干をします。
4斗ダル桶にすき間のない様に並べ、塩を3振り位振り、またすき間のない様に並べ繰り返します。1ヶ月位いてから、取り出して本漬をします。
◆本漬　本漬けにする前に一度試食してから、塩加減を致します。　大根を並べて昆布、唐辛子、米ぬかを入れて大根漬の素を入れて漬け込みます。この際に柿の皮を入れると甘味を増します。

秋のイベント情報

◆永野秋まつりのご案内
とき　10月12日（日）
場所　永野八幡神社

心のこもったお礼状ありがとうございました。